

令和4年度

田原市のまちづくり

3月2日(水)に開会した令和4年田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、令和4年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。令和4年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

《施政方針の要旨》

市長として2期目の任期も、早いもので3年が過ぎようとしており、令和4年度は在任期間の最終年度となります。就任以来、「渥美半島を元気に!」との思いを胸に、積極的に市政運営に取り組み、さまざまな課題に全力でチャレンジしてまいりました。

人口減少、少子高齢化の進行に加え、新型コロナウイルス感染症など新たな課題が生じるなか、農業をはじめとする地域産業の活性化や「365日保育」による子育て支援、赤羽根診療所の開設による地域医療の充実、三河田原駅の周辺整備など、将来へとつながる取り組みについて、着実に前に進むことができたと思っています。

令和4年度も、今まで以上に、「田原市に住んで良かった」、「田原市に住んでみたい」と思っていただけのようなまちを目指し、市政運営にまい進してまいります。

* * *

昨年を振り返りますと、まず、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症に関しては、市民の皆さんの命と生活を守るという強い決意のもと、関係者が一丸となって全力でワクチン接種に取り組んでまいりました。

現在は、3回目のワクチン接種を順次実施しているところですが、今後も市民の皆さんが安心・安全な日常生活を取り戻していけるよう、国や愛知県、医療機関などと連携しながら、迅速かつ確実に取り組んでまいります。

また、昨年4月には、超高齢化社会に対応した介護の担い手を養成するため、これまで公立で運営してきた「田原福祉専門学校」が、新たに社会福祉法人福寿園

が運営する「田原福祉グローバル専門学校」としてスタートいたしました。

そして、これまで進めてきた保育サービス充実の「環」として、この春には3つの保育園を統合・民営化した幼児連携型認定こども園「あかばねこども園」が開園いたします。

さらに、今後は観光などの産業振興を図るため、一般社団法人へと移行する「渥美半島観光ビューロー」と連携し、温泉運営やふるさと納税について新たな仕組みづくりを進めてまいります。

* * *

令和4年度の予算編成における重点施策として、「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」、「住み続けたいまちづくり」、そして「未来につながるまちづくり」の3つの柱を掲げ、元氣な渥美半島の実現に向けて取り組んでまいります。

* * *

苦しい状況であればこそ、勇気を持って果敢に挑戦し、新たな価値により将来の元氣な渥美半島につなげていくことが重要です。

そのため、令和4年度予算を「新たな価値により、未来へステップアップ」する予算として編成いたしました。

市民の皆さんの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆施政方針の全文は、市HPでご覧いただけます。



▲市HP